



2015年5月18日

報道関係各位

がん征圧ポスターデザインコンテスト 入賞作品決まる

東海大学・関さんが最優秀賞

学生を対象に公募した「がん征圧ポスターデザインコンテスト」の入賞作品（最優秀賞1点、優秀賞2点、奨励賞1点）が決定しましたのでお知らせいたします。本コンテストは、若い世代にがんについて知ってもらい、若者の発想でがん検診の受診を呼びかけてもらうのを目的に企画しています。3回目の今年、最優秀賞に東海大学の関花恵さんの作品が選ばれました。9月4日に前橋市で開催する「がん征圧全国大会」で表彰します。

審査は、本田亮氏（クリエイティブディレクター）、廣村正彰氏（グラフィックデザイナー）、中川恵一氏（東大病院放射線科准教授）、松田一夫氏（福井県健康管理協会副理事長）、岸田徹氏（がん経験者）ら8名によって行われました。

関さんの作品は、通常避けられがちな「死」という言葉を印象的に用いたコピーと、がん検診の意義を前向きに表現した点が評価されました。

この作品はポスターにして、がん征圧月間の9月、全国の自治体、保健所、病院などで掲示される予定です。部数は約5万部です。

第3回がん征圧ポスターデザインコンテスト 入賞者一覧

敬称略、プロフィールは応募時点

賞	氏名	大学名	学年	性別	住所
最優秀賞	関 花恵	東海大学	2	女	北海道
優秀賞	西脇 佑亮	富山大学	4	男	富山県
優秀賞	高山 栞	秋田公立美術大学	2	女	秋田県
奨励賞	斉藤 祐希	福島工業高等学校	1	男	福島県

※作品は次頁に紹介しています。

画像データの希望、お問い合わせ先

日本対がん協会 03-5218-4771（代表） 広報 本橋・臼井

第3回がん征圧ポスターデザインコンテスト 入賞作品

最優秀賞 (1点)



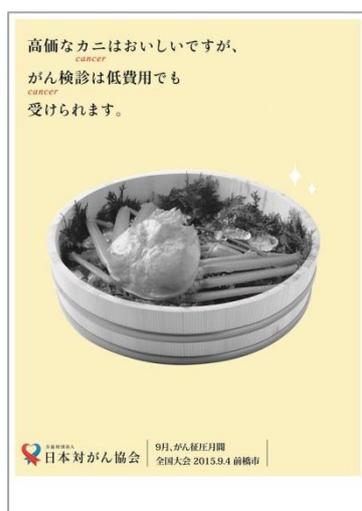
関 花恵 さん 東海大学

作者のコメント

「人にはそれぞれ、仕事や家族など「死ねない」理由があると思います。直球なコピーは応募する直前まで悩みましたが、受賞できてとても嬉しいです。自分の身体は自分だけのものじゃないと思うので、ポスターを見た人が大切な何かを思い出して、がん検診に行ってくれたらいいなと思います。」

※ポスターとして約 52,000 部が
全国の自治体、保健所、病院などで掲示されます

優秀賞 (2点)



西脇 佑亮 さん
富山大学



高山 栞 さん
秋田公立美術大学

奨励賞 (1点)



斉藤 祐希 さん
福島工業高等学校

《がん征圧ポスターデザインコンテストとは》

日本対がん協会は、9月の「がん征圧月間」に合わせて、例年、がん検診の受診を呼びかけるポスターを制作してきました。2013年度から、若い世代の視点をいかしたデザインを期待するとともに、制作を通してがんを知る機会を広げるため、学生を対象にコンテストを開始しました。

公式ホームページ <http://www.jcsposter.com/>

以上